

宮古毎日新聞 1月13日 2013年
久貝氏 遺跡発掘現場より

毎日新聞 1955年9月21日第3種郵便物認可

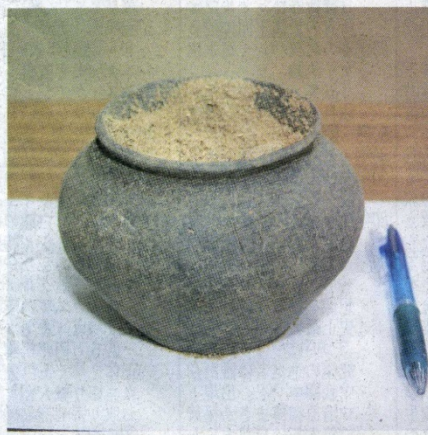
「カムイヤキ」完全形出土



友利元島遺跡

副葬品の可能性 グスク・無土器時代の人骨発見か

写真下は完全な形で発見されたグスク時代の代表的な遺物「カムイヤキ」。写真右の人骨の右肩付近に置かれていたことから副葬品ではないかと見られている。写真左は同じ遺跡の中から発見された無土器時代のものと見られる人骨



市教育委員会が発掘調査を進めてきた友利元島遺跡で11日、グスク時代（13世紀終わりごろから16世紀）の代表的な遺物である「カムイヤキ」が完全な形で出土した。12日には、カムイヤキのすぐ側で人骨が発見された。このことから同委員会はカムイヤキは死者とともに埋葬される副葬品の可能性が高く、人骨は14世紀前後のグスク時代のもの

友利元島遺跡は、インギヤル海岸のすぐ側で、同委員会が昨年11月から発掘調査を進めていた。人骨は、胸で両手を組んだ格好で出土した。グスク

明和の津波痕跡と過去の津波の有無との関連を明確に示唆している。

1月13日 調査日
琉球大学
仲座栄三